

県立三条東高校(渡辺治夫校長)創立110周年

明治43年5月9日三条小学校わき(現中央公民館)に開校

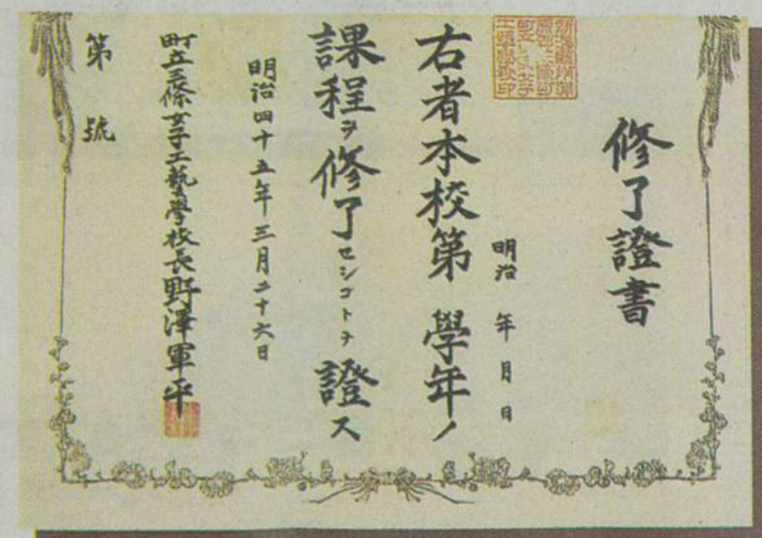
22日第一体育館を主会場に記念式典 幾度かの組織変遷の中で 2.9万人余が巣立ち内外で活躍

明治四十三年五月九日の創立から百十周年の歴史を刻んできた新潟県立三条東高校(渡辺治夫校長・生徒六百七十五人)と、同校創立百十周年記念事業実行委員会(加藤一芳委員長)は、二十二日午後二時から同校第一体育館を主会場に創立百十周年記念式典を執り行った。

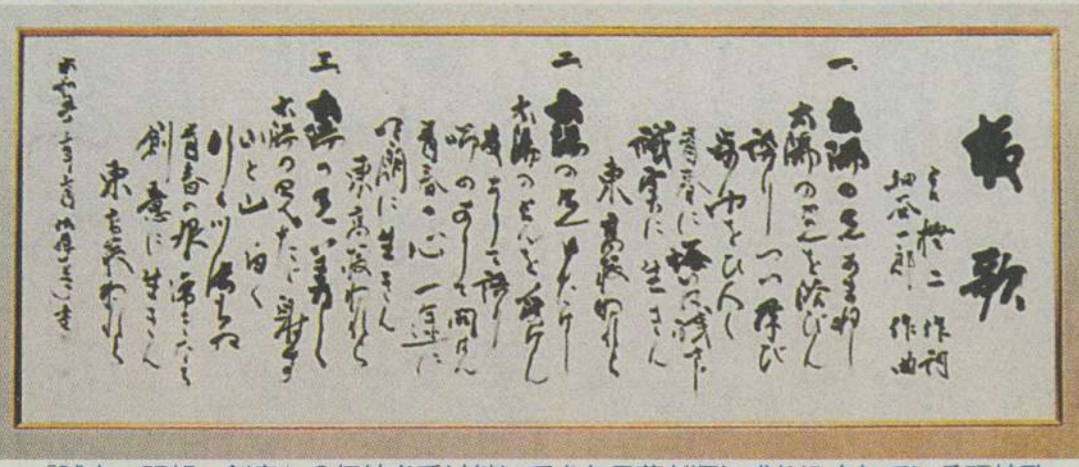
本来は昨年が百十周年に当たるが、新型コロナウイルス感染症の拡大で、今年に延期された。大きな節目を経て、さびしいながらも、記念誌の作成から十年の歩みを刻み、「誠実で自立して在る若人の育成」を教育の理念として、直近十年と移行しつつも、誠実、創立後、幾度かの改組の歩みの中で地域医療の発展に貢献を遂げ、礼儀正しき、さわやかなあざむき、何(なに)にも粘り強く真剣に取り組むという同校の伝統は脈々と受け継がれている中、一つの節目を機にさらなる新たな歩みへと、思いを新たにす。



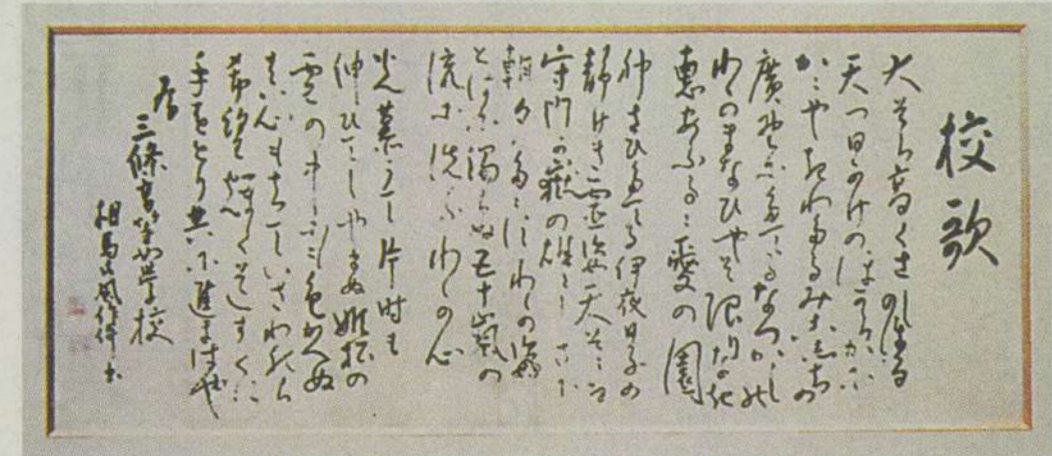
昭和24年3月、新制高等学校の第1回卒業式。11人が卒業



前身となる三条女子工芸学校の修了証書(明治45年3月)



「誠実・明朗・創意」の伝統を受け継いできた言葉が順に盛り込まれている現校歌



昭和3年の校舎竣工に合わせて制定された旧校歌

三条東高校110年のあゆみ

校歌『大空高く』相馬御風詞 弘田龍太郎曲

臨時教育養成所附設
100人が戦争末期の教壇に

その後、戦時色が色濃くなる中、太平洋戦争最中の昭和十九年には男性が戦地に赴き、不足の中、臨時に女性教員を養成する必要に迫られた臨時措置として、臨時教育養成講習所が附設され、一期二期合わせ、約二年の間に百人が講習所を修了して、戦争末期の学校教育を支えた。

昭和23年県立三条女子高校に
昭和25年4月三条東高校と改称

戦後の学制改革により、昭和二十二年四月には中学校を併設し、二十三年四月には県立三条女子高等学校と改称、同年七月には夜間制の被服課程が加わった。二十五年四月に県立三条東高校と改称、全日制課程に被服課程を併設した。二十七年には定時制が募集停止となり、三十三年には家庭課程を新設、三十八年には同

昭和49年4月男女共学
共学1期生男子84人

課程を募集停止し、新設された家政科を置いて、四十二年には同校の登山部や登山授業の拠点となる巻機山(南魚沼市・旧堀之内町)に県内の高校では初の山小屋「清水山荘」が完成した。四十九年四月から男女共学となり、共学の第一期生は男女八十四人が入学し、新たな歴史を歩み出した。五十一年には被服科が募集停止となり、五十二年十一月には現在の校歌「大空高く」が制定された。作詞は南魚沼市(旧堀之内町)出身の詩人、宮城二、典を奉じた。作曲は児童作品を手がけた細谷一郎が担当した。五十七年四月には現在の北入蔵地内に校舎が完成、平成二年にはプール、六年にはゼミナールハウスも完成、十一年には家政科が三十八年の歴史にピリオドを打ち、普通科のみの高校となった。平成十四年には「清水山荘」を山岳部OB、OG、顧問などとして一善機に譲渡。

100周年からさらに10年
医療専攻を開設

その百周年の大きな節目から、さらには十年が経過してきた中、同二十七年で医療専攻を開設、新たな役割を担う形で、さらに新たな道を歩み出している。これまでに同校を巣立った卒業生は昨年度末(とし)三月末で二万九千九百六十八人に達している。

明治43年創立南蒲三条町立女子工芸学校を前身に

創立百十周年を迎えた三条東高校は明治四十三年五月九日に創立の南蒲三条町立女子工芸学校を前身とし、三条小学校の前身となる三条尋常高等小学校に併置の女子補習科を廃して、三条女子尋常高等小学校に附設された。当時の校舎は現在の三条中央公民館の場所にあった。

明治四十五年四月に三条高等女子学校と改称、町立三条実科高等女子、高等女子学校に昇格。三月、校舎完工落成式を挙げて、併せて、文学者を兼用し、三十四年四月に新潟県立三条高等女子学校と改称、馬御風の詞、児童に数多くの名曲を残した。

翌十五年九月、東裏弘田龍太郎が曲を付けた校歌「大空高く」が制定され、昭和三年校歌として制定された。

『110周年記念誌』 式典の様子を入れて1月完成

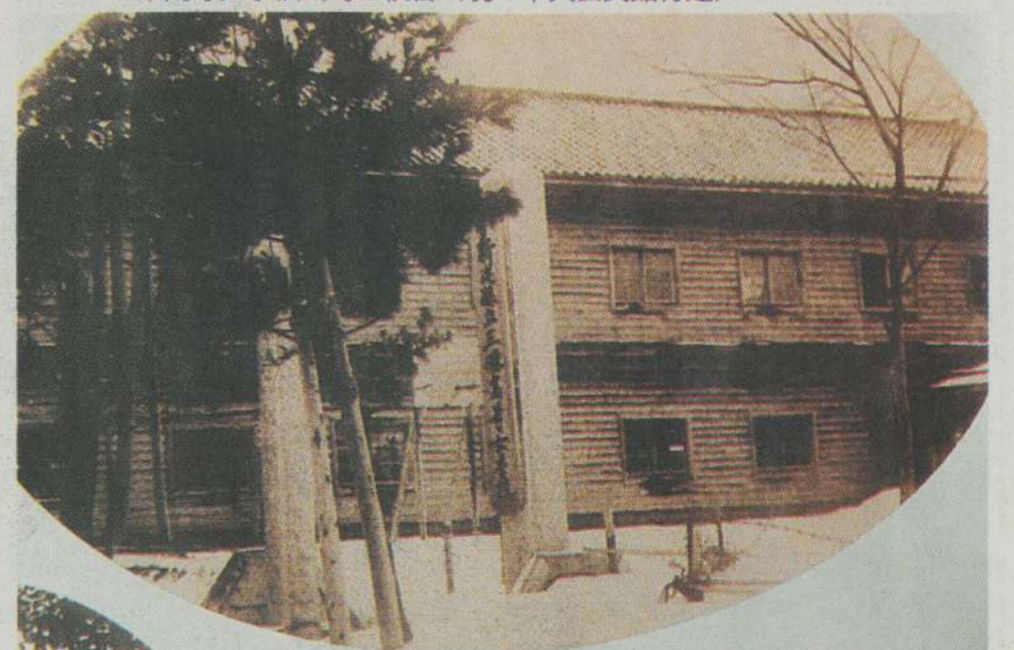
コロナ禍配慮の中で記念式典 来賓、職員、生徒700人出席

創立百十周年記念式典(まごころの言葉)を述べ、付する。式典は二十日午後二時から、校歌を斉唱して終る。記念事業実行委員会では百十周年記念誌の作成も進めており、この式典には来賓や在籍生など合わせ、約七百の日の記念式典の様子を合わせ、三学年が出席、生徒たちを盛り込んだ上で、年長に記念の祝賀書を配り、一月の完成をめざす。



旧校舎の正面玄関・昭和6年ころ

三条高等女子学校当時の校舎(現・中央公民館付近)



昭和41年に竣工の「清水山荘」巻機山